

# 東桃原自主防災会防災訓練 避難所運営ゲーム(HUG)訓練実施風景



2016/03/12 11:32



2016/03/12 11:44



2016/03/12 11:49



2016/03/12 11:57

タイムス 2016年(平成28年)3月16日水曜日 地域 24

## 避難所運営ゲームで学ぶ 万が一に備え訓練

沖縄市東桃原自治会

【沖縄】市東桃原自治会の自主防災会は13日、同公民館で防災訓練を実施した。参加者

した地域住民らは「避難所運営ゲーム」などをして、万が一に備えた。同ゲームは静岡県で開発されたもの。避難所に詰めかけた避難者の誘導方法などについて、適切に対応することを目的としている。

ゲームは学校が避難所になったことを想定。参加者は机に置かれた体育館や教室に見立てた図面に、避難者の年齢や家族構成、持病などが書かれたカードを並べた。

各グループでは簡易トイレの設置場所や避難所の通路確保などを考えながら、「発熱している人は保健室にや、支給毛巾は受付に集めよう」といった指示を話し合ったり、話し合い、円滑な避難所運営ができるよう工夫した。

ゲームの他にも、心停止状態の人に電気ショックを与える

て救命する自動体外式除細動器(AED)の使い方も学習。終了後には、炊き出し訓練で調理したカレーライスを食べた。自主防災会の石原一

昭会長は「もし災害が起きたら、避難所に駆け込め、避難所になるはず。訓練を重ねることで素早く適切に対応できれば」と期待した。

また、沖縄ではスーパー台風といわれる襲来(高潮含む)で避難所への早期避難も考えられます。

もし、あなたが避難所の運営をしなければならない立場になったとき、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対応すれば良いのでしょうか。避難所 HUG は、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

プレイヤーは、このゲームを通して災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出しあったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。

**HUG** は、**H** (hinanzyo 避難所)、**U** (unei 運営)、**G** (game ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けました。

しましま+ 中部